

Rotary

Rotary Opens
Opportunitiesロータリーは機会の扉を開く
2020～2021年度 ヘルパー・クナーク RI会長テーマ

WEEKLY BULLETIN

2021年4月8日(3384例会)(創立70周年) 呉ロータリークラブ週報 NO.3298

■呉RC 2020～2021年度テーマ 「調和と未来への継承」

会 長 長 尾 正 嗣
副 会 長 長 行 事 義 人 幹 事 石 田 直 樹 会長エレクト 福 田 多 喜 二
直前会長 志々田幸治 会 計 睦 淳 造 会場監督 中 崎 誠

(事務局) 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12 (例会場) 〒737-0051 呉市中央1丁目1-1 呉阪急ホテル
呉商工会議所ビル南館7階 705号室 ☎(0823)20-1111 FAX(0823)20-1120
☎(0823)24-4411 FAX(0823)21-5692 (例会日時) 毎週木曜日 12:30～13:30
E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

今週のメインプログラム

職業奉仕委員会担当例会

「電子書籍の変遷と5G時代の幕開け」

尾川 匠君

次週のメインプログラム

職業奉仕委員会担当例会

「新型コロナウイルス感染症について」

下瀬 省二君

第3383例会記録【4月1日(木)】

【プログラム】 ◇母子の健康 月間 社会奉仕委員会担当例会

外部講師：呉市手をつなぐ育成会 副会長・常務理事 徳永玲子様

「障害の子とともに！」 たったひとつの命 たったひとつの宝物

・障害が分かったとき ・きょうだいへの影響 ・障害の御子息のお話し ・御家族のお話し

・障害者としてそだてるのではない、人として大切なことを教えそだてる

・できないところだけを支援して戴きたい

【出席率】 前々回 90.91% 今回 87.69% (会員69名・欠席8名・免除4名)

【来客】 ◇呉市手をつなぐ育成会 副会長・常務理事 徳永玲子様

【他クラブ出席者】 ◇山本・沖田・西藤・海生(孝)君(3/30 呉南) 4名

【欠席者】 ◇沖田・仮井・坂田・島村・武田(信)・堀口・向井・山村君 8名

【出席免除者】 ◇大島・奥川・海生(孝)・武田(保)君 4名

【会長報告】 ◇入会式：ビルックス株式会社 代表取締役社長 藤井 聖様(推薦者 大矢宏典君・明神 博君・志々田幸治君)

(アドバイザー：明神 博君)

【幹事報告】 ◇RI…ROTARY 4月号

◇RI日本事務局財団室…財団室ニュース 4月号

◇RI第2710地区事務局 協ガバナー…ガバナー月信4月号(配布)

◇東広島ロータリークラブ…例会変更・例会休会のお知らせ。4/20(火)夜間例会の為、18:30～に変更。サインマーク受付けます。4/27(火)5/4(火)休会。

【委員会報告】 ◇ロータリーの友4月号のご紹介…親睦活動委員会 平野誠宏委員

【S.A.A】 ニコニコ



◇長尾正嗣君…創立80周年記念でレトルトカレーを作りました。コロナ禍でどこにも行けないので家で病院の味を楽しんでもらおうと企画しました。中国新聞の岩崎さん、ありがとうございます。

◇三宅清嗣君…3月7日の中国新聞朝刊の第9面「ひとコト」にて写真とインタビューを掲載して戴きました。ありがとうございます。

◇谷口彰啓君…当社グループ会社にて、高齢者向け食材製造の新工場を開設しました。又、同工場内に当社食堂事業本部も移転しました。これからも宜しくお願いします。

◇奥原祥司君…親に似ずに国立大学に合格という孝行者の長女が進学の為、東京に引っ越しました。(この長女は家族例会でバイオリンを弾いた子です)世の中はコロナ禍ですが大学では対面授業も行われるとのことで、キャンパスライフを楽しんでもらいたいです。

◇海生知亮君…今年1月にSDGs宣言をさせて戴きました。住み続けられる地域づくりに貢献し、持続可能な地域社会を実現して参りたいと考えています。

◇会員誕生日・配偶者誕生日の御紹介

◎ニコニコ基金金額 25,000円(累計金額 1,212,000円)

私の仕事と職業奉仕



武田 保介

武田製網は明治30年に私の曾祖父が創業いたしました。当初は家内制手工業程度のものだったようですが徐々に業容を拡大し最盛期の昭和30年代には本目網機100台、蛙又編網機35台、リング撚糸機2000錘などを擁し女工（この表現も今や不適切かもしれませんが）も300人を超えるまでになりました。この間、大正7年の米騒動、昭和4年の世界大恐慌、昭和20年の敗戦、そして戦後のオイルショック、バブル崩壊などをしぶとく生き残り今日まで何とか命脈を保っております。幾多の困難を乗り越えてきた製網業ですが斜陽産業であるという現実から目を背けることはできず石油販売業、不動産取引業と徐々に業容を変化させていき平成27年、創業118年目の年に完全に漁網の製造、販売を終了。今や製網という言葉は社名に残るのみとなりました。現在の売上は不動産取引業と石油販売業が中心で私の仕事も自ずと不動産や石油製品の売買や管理が中心となっております。趣味が高じて酒場の経営などもやっておりますがコチラはコロナのお陰で見事に赤字です（苦笑）

弊社は創業者である曾祖父が若くして亡くなったので妻である曾祖母が一時会社を支えておりました。その曾祖母が口にしていたのは「儲けたお金の三分の一は会社のために使い、三分の一は社員のために使い、三分の一はお客様のために使う」という言葉です。

戦前の本社は本通の道路沿いにあったので（現在の呉信用金庫本通支店の辺り）夕方になると海軍工廠で働いている大勢の人たちが目の前を歩いて家路につきます。夏の暑い盛りには大量のラムネを用意し家路につく人々に「今日も一日ご苦労様でした」と言って冷したラムネを振舞ったりすることもあったので大変喜ばれたそうです。昔の話ではありますがこのような行いも現在のロータリーの職業奉仕の理念に通じるものがあるのではと思いを馳せる今日この頃です。